

決算特別委員会 市長質疑での質疑と答弁

9月13日に設置された決算特別委員会は、3つの分科会に分かれて審査を行いました。9月21日に行われた市長への質疑の中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

第1分科会

差し押さえの前に十分な相談を

Q1 市税滞納者が財産を差し押さえられたため、融資が受けられず倒産した事例が起きている。事前に十分な納付相談を行い、差し押さえに陥らないような対策が必要ではないか。

A1 督促状や催告書の送付、税金・料金お知らせセンターによる納付勧奨を行っても自主的な納付がない場合、電話による催告や市税事務所への来所を求めるとして、滞納の事情をよく聞くようにしている。その上で、分割納付の相談や無料法律相談、消費生活センターの紹介など、納税者の実情に応じた対応をしている。しかし、資力があるのに納付の誠意がみられない滞納者などには、原則、予告をして差し押さえを行っている。経済情勢が厳しい中でも大多数の納税者は納期限内に納税しており、厳正に臨むことは公平性の観点からも必要と考えている。

スポーツ施設の平日利用促進を

Q2 市民のスポーツに対する関心は高く、施設がなかなか利用できないとの苦情やグラウンド新設の要望もある。しかし、平日の施設利用状況にはまだ余裕があり、施設の有効利用の観点からも、利用料金の改定も含め、平日の利用促進を図るべきではないか。

A2 本市のスポーツ施設では、平日は大会開催も少なく、個人や高齢者の団体などで利用があるものの、まだ余裕がある。市としても、施設の平日利用の促進は、スポーツに親しむ機会の拡充、施設の有効活用の観点から重要な課題と認識している。今後、市や体育協会が行うスポーツ教室の平日実施の拡大、指定管理者による平日の事業展開、個人利用も含めた利用方法の柔軟な見直しなどの検討が必要と考えており、利用料金の改定も含め幅広く検討を進めていく。

第2分科会

ごみ不法投棄防止の強化策検討を

Q1 市民と行政が一体となって、家庭ごみの減量を維持し、リサイクルの意識も実績も促進されている。しかし、一方では心ない人が不法投棄を繰り返す事実もある。監視カメラの一斉設置など、不法投棄対策を強化すべきではないか。

A1 不法投棄防止のため、休日夜間パトロール、監視カメラおよび警告看板設置、市民通報員制度による投棄物の早期発見・撤去、警察OB配置による監視指導体制強化、産業廃棄物処理業者への立入検査などを実施している。その結果、不法投棄件数は平成17年度の3788件をピークに平成21年度は2257件と4割減少した。今後も抑止効果が大きい監視カメラ増設や不法投棄の多い場所への移設、また、看板設置、パトロール強化、車止め設置による車両侵入防止措置など、対策を総合的に進めていく。

ひきこもりに対する支援拡充を

Q2 ひきこもり地域支援センターにおいて、訪問支援ができるような体制整備が必要ではないか。

A2 支援センターでは、相談員による電話や来所、訪問による相談支援、フリースペースの運営やクラブ活動の場の提供、ボランティアや就職活動をする際の関係機関の紹介など、段階に応じた支援を行っている。支援の初期段階では来所相談が困難な場合が多く、訪問による相談支援が有効であることから、今後とも訪問相談の取り組みの強化や関係機関との連携を密にして、段階に応じたきめ細かな支援を行うとともに、ひきこもりで悩んでいる家庭に支援センターの情報が届くよう広報に努めていく。

第3分科会

北九州空港の航空貨物拠点化への取り組みは

Q1 9月14日、大型貨物専用機による国際チャーター便が初めて北九州空港に就航し、同空港の貨物拠点化に向けた大きな第一歩となった。今後、貨物便の誘致や貨物の集荷等にどのように取り組んでいくのか。

A1 24時間発着可能でIC・自動車産業が集積する九州の玄関口としての特徴を生かし、官民挙げて北九州空港の貨物拠点化に向けた積極的な誘致活動を進めてきた。昨年3月には県知事が同空港の滑走路を3000メートルに延伸し貨物拠点化を進めるべきと意見表明をしたことを受け、県と連携してアジアの主要航空会社への強力な誘致活動や荷主企業、物流事業者への空港利用を働きかけてきた。引き続きこのような取り組みを積極的に行い、航空貨物の拠点化に向け着実に実績を積み重ねていきたい。

若松区に大型宿泊施設誘致を

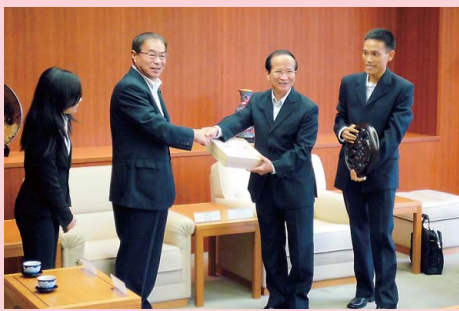
Q2 若松区ではエコタウンへの視察者やひびきコスモス運動場の利用者の増加が考えられる。若松区に大型宿泊施設を誘致し、本市の減少傾向にある宿泊客を呼び込んでどうか。

A2 宿泊客の増加は、観光行政の重要課題の1つであるが、若松区では、歴史ロマンあふれる街並みや響灘の眺望、国際的にも評価の高いエコタウンなど今後とも観光客や視察者の増加が見込まれる。そのため例えば、ひびきコスモス運動場で全国規模のスポーツ大会などが開催される際に参加者に対して、市内ホテルへの宿泊を手配するなどきめ細かな対応を行いたい。市として、若松区をはじめ本市のさまざまな魅力を発信し、宿泊客を増やす対策に取り組むことで、まずは既存の宿泊施設の利用向上を図り、新たな宿泊施設の進出が望める環境づくりを進めたい。

常任委員会の主な活動状況(平成22年6月18日～平成22年9月30日)

委員会名 (開催回数)	案 件	
総務財政委員会 (4回)	【議案の審査】北九州市自治基本条例について 【請願・陳情の審査】日本軍慰安婦に対する国の誠実な対応を求める意見書の提出について 【報 告】「北九州市ブランド戦略会議」からの提案について	ほか5件 ほか2件 ほか6件
建築消防委員会 (3回)	【議案の審査】関門景観条例の一部改正について 【請願・陳情の審査】市住宅供給公社設置の団地集会所の使用料無料化について 【報 告】平成22年7月13日から15日にかけての大雨による概況について	ほか4件 ほか2件
環境建設委員会 (3回)	【議案の審査】平成22年度北九州市一般会計補正予算についてのうち所管分 【請願・陳情の審査】高蔵ずい道築造について 【報 告】7月13日からの豪雨による河川・下水道・道路・公園の状況について	ほか6件
保健病院委員会 (4回)	【議案の審査】平成22年度北九州市介護保険特別会計補正予算について 【請願・陳情の審査】障害児の学童保育の充実について 【報 告】敬老祝金支給者(100歳以上)の所在確認調査の結果について	ほか2件 ほか2件 ほか1件
教育水道委員会 (3回)	【議案の審査】平成22年度北九州市一般会計補正予算についてのうち所管分 【請願・陳情の審査】教育条件の充実・改善について 【報 告】次期「北九州市水道事業中期経営計画」の策定について	ほか2件
経済港湾委員会 (3回)	【議案の審査】公立大学法人北九州市立大学の中期目標について 【報 告】港湾整備特別会計の経営健全化について	ほか4件 ほか5件

案件は、主なものだけ掲載しています。



ハイフォン市来北団による議会表敬

平成22年8月9日(月)

北九州市と友好協力協定を締結したベトナム・ハイフォン市のグエン・バン・ツアン書記長(写真右から2人目)をはじめとする訪問団が北九州市議会を表敬訪問しました。

今年の5月にハイフォン市を本市議会代表者が訪問して以来の再会となりました。会談の中で、今後、環境など新しい分野で両市の交流をさらに深めていこうという意見で一致しました。

可決した意見書・決議

市議会では、市政や市民の皆さん生活にかかわりの深い事柄について改善を求める等のため、意見書の国等への提出や決議を行っています。

今定例会では、16件の意見書・決議が提出され、うち10件を可決しました。その件名をご紹介します。

- 公共交通機関への支援を含む総合的な交通体系の構築を求める意見書
- 地方分権に対応する地方議会の確立を求める意見書
- 新たな経済対策を求める意見書
- 完全な地上デジタル放送の実施に向けて円滑な移行策を求める意見書
- 子宮頸がんの予防対策の推進を求める意見書
- 公共投資の推進による景気対策を求める意見書
- 司法修習生に対する給費制の堅持を求める意見書
- 安心できる年金制度の確立を求める意見書
- 米価の下落に対する緊急対策を求める意見書
- 高齢者を社会的に孤立させない施策の充実を求める決議

請願・陳情の審議結果

陳情「郵政民営化の抜本見直しに関する意見書の提出について」 《不採択》
このほか、請願29件、陳情65件が継続審査になりました。

お知らせ

市議会では、視覚障害(1級か2級)のある方に、市議会だよりの点字版または録音テープを無料でお届けしています。聴覚に障害のある方が、本会議の傍聴を希望される場合は、要約筆記者および手話通訳者の派遣先を紹介しています。次の定例会の日程は、市議会ホームページでご確認ください。

【問い合わせ先】 市議会事務局総務課 電話 582-2621